



A コマンド

この章では、A で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

aaa authentication login console

コンソール ログインの AAA 認証方式を設定するには、**aaa authentication login console** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login console {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login console {group group-list [none] | local | none}
```

シンタックスの説明

group	認証でサーバ グループを使用するように指定します。
<i>group-list</i>	スペースで区切られたサーバ グループのリストを指定します。リストには、次の内容を指定できます。 <ul style="list-style-type: none">• radius : 設定されたすべての RADIUS サーバ• tacacs+ : 設定されたすべての TACACS+ サーバ• 設定された RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバ グループ名
none	認証でユーザ名を使用するように指定します。
local	認証でローカル データベースを使用するように指定します。

デフォルト

local

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

group radius、**group tacacs+**、および **group group-list** 方式は、定義済みの RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのセットを参照します。ホストサーバを設定するには、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用します。指定したサーバのグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

デバイスの RADIUS サーバグループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバグループを指定すると、ソフトウェアはリストで指定されている順序で各グループをチェックします。

group 方式または **local** 方式を指定してそれが失敗した場合は、認証は失敗する可能性があります。**none** 方式だけを指定した場合、または **group** 方式の後で指定した場合は、認証は常に成功します。

例

次に、AAA 認証コンソール ログイン方式を設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# aaa authentication login console group radius
```

次に、デフォルトの AAA 認証コンソール ログイン方式に戻す例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# no aaa authentication login console group radius
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa group server radius	RADIUS サーバグループを作成します。
aaa group server tacacs+	TACACS+ サーバグループを作成します。
radius-server host	RADIUS サーバを設定します。
show aaa authentication	AAA 認証情報を表示します。
show aaa groups	AAA サーバグループを表示します。
tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。

aaa authentication login default

デフォルトの AAA 認証方式を設定するには、**aaa authentication login default** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
aaa authentication login default {group group-list} [none] | local | none}
```

```
no aaa authentication login default {group group-list [none] | local | none}
```

シンタックスの説明

group	認証で使用するサーバ グループ リストを指定します。
group-list	スペースで区切られたサーバ グループのリストを指定します。リストでは次の内容を指定できます。 <ul style="list-style-type: none"> • radius : 設定されたすべての RADIUS サーバ • tacacs+ : 設定されたすべての TACACS+ サーバ • 設定された RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバ グループ名
none	(任意) 認証でユーザ名を使用するように指定します。
local	認証でローカル データベースを使用するように指定します。

デフォルト

local

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

group radius、**group tacacs+**、および **group group-list** 方式は、定義済みの RADIUS サーバまたは TACACS+ サーバのセットを参照します。ホスト サーバを設定するには、**radius-server host** コマンドまたは **tacacs-server host** コマンドを使用します。指定したサーバのグループを作成するには、**aaa group server** コマンドを使用します。

デバイスの RADIUS サーバ グループを表示するには、**show aaa group** コマンドを使用します。

複数のサーバ グループを指定すると、ソフトウェアはリストで指定されている順序で各グループをチェックします。

group 方式または **local** 方式を指定してそれが失敗した場合は、認証は失敗します。**none** 方式だけを指定した場合、または **group** 方式の後で指定した場合は、認証は常に成功します。

例

次に、AAA 認証コンソール ログイン方式を設定する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# aaa authentication login default group radius
```

次に、デフォルトの AAA 認証コンソール ログイン方式に戻す例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# no aaa authentication login default group radius
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa group server radius	RADIUS サーバ グループを作成します。
aaa group server tacacs+	TACACS+ サーバ グループを作成します。
radius-server host	RADIUS サーバを設定します。
show aaa authentication	AAA 認証情報を表示します。
show aaa groups	AAA サーバ グループを表示します。
tacacs-server host	TACACS+ サーバを設定します。

aaa authentication login error-enable

コンソールに AAA 認証失敗メッセージを表示するように設定するには、**aaa authentication login error-enable** コマンドを使用します。エラーメッセージを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa authentication login error-enable

no aaa authentication login error-enable

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト デイセーブル

コマンドモード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン ユーザがログインしたときにどのリモート AAA サーバも応答しない場合、認証はローカル ユーザ データベースによって処理されます。表示をイネーブルにしてある場合は、次のいずれかのメッセージがユーザに対して生成されます。

```
Remote AAA servers unreachable; local authentication done.
Remote AAA servers unreachable; local authentication failed.
```

例 次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をイネーブルにする例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# aaa authentication login error-enable
```

次に、AAA 認証失敗メッセージのコンソールへの表示をディセーブルにする例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# no aaa authentication login error-enable
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show aaa authentication	AAA 認証の設定を表示します。

aaa authentication login mschap

ログイン時に Microsoft Challenge Handshake Authentication Protocol (MSCHAP; マイクロソフト チャレンジ ハンドシェーク 認証プロトコル) 認証をイネーブルにするには、**aaa authentication login mschap** コマンドを使用します。MSCHAP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa authentication login mschap

no aaa authentication login mschap

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト ディセーブル

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例 次に、MSCHAP 認証をイネーブルにする例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# aaa authentication login mschap
```

次に、MSCHAP 認証をディセーブルにする例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# no aaa authentication login mschap
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show aaa authentication	AAA 認証の設定を表示します。

aaa group server radius

RADIUS サーバグループを作成するには、**aaa group server radius** コマンドを使用します。RADIUS サーバグループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa group server radius *group-name*

no aaa group server radius *group-name*

シンタックスの説明	<i>group-name</i>	RADIUS サーバグループ名を指定します。名前は英数字で、大文字と小文字が区別されます。最大 64 文字まで指定できます。
デフォルト		なし
コマンドモード		グローバル コンフィギュレーション (config)
サポートされるユーザの役割		network-admin
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。
例	次に、RADIUS サーバグループを作成し、指定したサーバグループを設定するために RADIUS サーバ コンフィギュレーション モードを開始する例を示します。	
	<pre>switch# config t switch(config)# aaa group server radius RadServer switch(config-radius)#</pre>	
	次に、RADIUS サーバグループを削除する例を示します。	
	<pre>switch# config t switch(config)# no aaa group server radius RadServer</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show aaa groups	サーバグループ情報を表示します。
	radius-server host	RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名を定義します。

aaa group server tacacs+

TACACS+ サーバ グループを作成するには、**aaa group server tacacs+** コマンドを使用します。
TACACS+ サーバ グループを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

aaa group server tacacs+ group-name

no aaa group server tacacs+ group-name

シンタックスの説明	group-name	TACACS+ サーバ グループ名を指定します。名前は英数字で、大文字と小文字が区別されます。最大 64 文字まで指定できます。
-----------	------------	--

デフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割 network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン TACACS+ を設定する前に、**tacacs+ enable** コマンドを使用して TACACS+ をイネーブルにする必要があります。

例 次に、TACACS+ サーバ グループを作成する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# aaa group server tacacs+ TacServer
switch(config-radius)#
```

次に、TACACS+ サーバ グループを削除する例を示します。

```
switch# config t
switch(config)# no aaa group server tacacs+ TacServer
```

関連コマンド	コマンド	説明
	tacacs+ enable	TACACS+ をイネーブルにします。
	show aaa groups	サーバ グループ情報を表示します。

attach module

アクティブな Virtual Supervisor Module (VSM) からスタンバイ VSM コンソールにアクセスするには、**attach module** コマンドを使用します。

attach module *module-number*

シンタックスの説明

module-number 既存のモジュールを識別する番号を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
(注) 動作する値は 2 だけです。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザの役割

network-admin

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

例

次に、セカンダリ VSM のコンソールに接続する例を示します。

```
switch# config t
n1000v(config)# attach module 2
switch#
```

使用上のガイドライン

モジュール番号の有効な範囲は 1 ~ 66 ですが、動作する値は 2 だけです。

関連コマンド

コマンド	説明
show cores	コアのリストを表示します。
show processes	すべてのプロセスの状態と開始カウントを表示します。
reload module	モジュールをリロードします。

